

## コンピュータチェック事例コード

48SJ991123402

## コンピュータチェック内容

血液を検体とする検査、血液学的検査判断料及び短期滞在手術等基本料 1 の算定がなく、同日に外来診療料と血液採取が算定された場合にチェックを実施。

## コンピュータチェック根拠

各種の検査は、診療上必要があると認められる場合に行うとされています。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

### 2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が  
査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

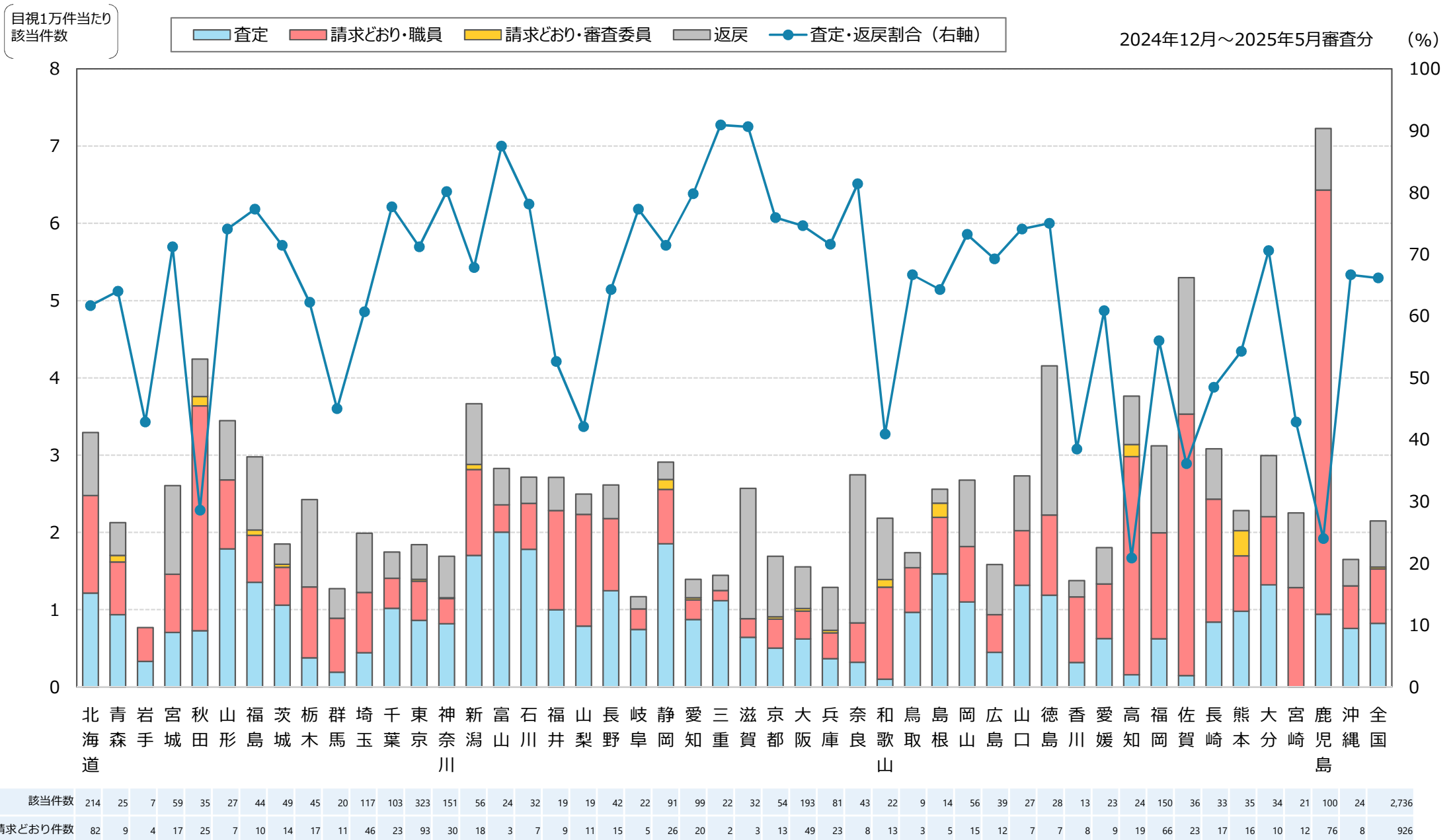
➤ 全国の査定・返戻割合 66.15%

➤ 検証対象都道府県 45

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	高知、鹿児島、秋田、佐賀、香川、和歌山、山梨、岩手、宮崎、群馬、長崎、福井、熊本、福岡、埼玉、愛媛	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	鹿児島、佐賀、秋田、高知、長崎、山梨、福岡、宮崎、福井、北海道、和歌山、新潟、徳島、長野、栃木、山形	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	熊本、島根、高知、静岡、秋田、和歌山、青森、福島、新潟、茨城、大阪、兵庫、京都、愛知、東京、神奈川	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,736件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,810件
		926件



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数